

公表

事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）

事業所名	Kids Reha RECRU.
------	------------------

公表日

R8年 4月 1日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	活動や利用者の特性に応じて、スペースを変更しています。静養室を活用し感情が高まった方のカムダウン室として活用できています。	今後もスペースの有効活用を心がけます。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	基準の配置数は適切である。充実していると思います。	今後もご利用者様の特性に合わせ、配置を検討し対応します。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	各物品に視覚支援のための、ポスターなどわかりやすいように実施できています。見通しを立てるために、絵カードやイラストを活用したスケジュールを活用しています。バリアフリーなトイレ、手洗い場が完備されています。落ち着いて生活できるように、工夫していると思います。	今後も利用者様が、心地よく、療育が出来るような環境整備に努めます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	毎日清掃を実施しており、清潔に保っております。パーテーションを設置したり、取り外したり、安心、安全に生活できていると思います。	引き続き気持ちよく療育が出来るように環境整備に努めます。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	机上活動や、個別活動では仕切りを活用し視覚情報を遮断し、集中しやすい環境を整えています。静養室も活用できています。	引き続き、利用者様の状況に応じて、部屋、場所を有効活用できるように努めます。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	・利用される一人一人の特性を共有するためのミーティングを毎日実施し、療育時の配慮する点を検討出来ています。PDCAサイクルに努めている。	今後も継続し利用者様のため、PDCAを意識し、スタッフと共有していきます。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	保護者様の意見に関しては、スタッフ間で共有し、療育時やお子様への対応に生かせるように配慮出来ています。 ・保護者様から連絡があると、意向を取り入れ、改善している。会は実践してない。	引き続き、職員全体で保護者様のニーズを把握し療育内容の質の向上を図ります。 ・ニーズを把握するような会を検討します。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	業務内容を改善しながら働いている。ミーティング等でしている。	今後もチーム全体で、療育が実施できるような工夫を実施します。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	0	第三者評価は現在行っておりません。	必要に応じて実施を検討いたします。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	適宜法人内での研修を実施し、さらなるスタッフの質の向上に努めております。	引き続き実施します。
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	・HPにて、支援プログラムを公表しております。 ・スタッフとのミーティングや、家族の方々との面談により、支援プログラムを検討しております。	引き続き、より良い療育が実施できるように心がけます。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	実施できています。担当者と共に、アセスメント、評価結果などをもとに、支援計画を立案し、ご家族のニーズを把握し立案されています。	引き続き、ご家族とご本人のニーズを把握できるように努め、支援計画を作成します。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	支援計画作成後、ケース会議が開催されています。その都度、職員の考えや思い、こどもの最善の利益を検討しています。話し合いの中で検討した内容を作成している。	引き続き、こどもの最善の利益を考慮し、より良い計画を作成します。

14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	計画については、適宜ミーティングで検討され、支援内容に反映されています。また、支援計画もスタッフが確認できるように配慮されています。 計画に沿った、支援をしている。	引き続き、計画が達成されるような支援内容になるように検討します。
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	運動、認知、巧緻性、社会性、発語等の発達段階を遠城寺式乳幼児発達検査、また、アセスメントや利用者様の背景を考えるためにICFの活用など適宜必要性のある評価を実施しております。 状況によって、行動観察後の話し合いを取り組んでいる。	引き続き、主観的な物だけでなく、客観的に利用者様の状態を把握し、療育内容に馴染みます。
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	本人支援、家族支援、移行支援及び地域支援・地域連携に沿って、その子に必要なこと、今後就学時に必要なことを整理し、支援内容を利用者様に状況に合わせて検討されています。地域支援では、デイサービスとの連携があります。 ・ガイドラインに沿った計画が作られている。適切に設定されている。	引き続き子供の支援に必要な項目を適切に設定し、具体的な支援内容が設定されていますか検討します。
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	毎日の療育ミーティングで個別性のある療育を実践するために、スタッフ間で情報共有を図っています。 話し合いの中で立案している。	引き続きチームで支援内容を検討し、プログラムを実践します。
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	固定化されてしまっているが、支援プログラムは毎月一週間ごとに設定され、一週間利用者様も繰り返し実践することで、見通しが立ち、自信をもって取り組めるように配慮されています。 ・様々な経験ができるように工夫している。	今後も活動プログラムが固定化されないように配慮し、検討する。
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	・時間帯で、個別活動する場面や、小集団療育の場面を実施しています。 ・個と集団と組み合わせている。	引き続き、必要性に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせます。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	毎回実施できています。前回利用時の体調や、行動面で気なることをアセスメントし、関わり方、テーブルの配置、課題の難易度、課題の提示方法、時間帯や気温の変化による情緒面の変動について趣味レーションできています。 打ち合わせをしている。	今後も、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を実践します。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	支援終了後にスタッフ間で振り返りを実践し、次回利用時に生かせるように検討しています。 振り返りをしている。	引き続き、振り返りを実践し、療育の質の向上に努めます。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	支援の日誌をつけ、検証・改善に努めることが出来ています。 記録を都度とり、支援の改善をしている。	引き続き、文書においても検証できるように記録をとり、改善に努めます。
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	定期的にモニタリングを実施し、活動内容が変更されています。 見直している。	引き続き、モニタリングをもとに支援内容の見直しを実施します。
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	0	適宜実施できています。	4つの基本活動に合わせ今後も支援を行っていきます。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	子どもたちが選択しやすいように、言葉以外の提示ができています。(イラストなどの視覚支援)で文字を読むことが難しい子どもでも選択できるような工夫をしております。	今後も子どもたちが自分で選択できるような工夫を継続します。
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	参加できています。その後、情報共有もされております。	他事業所と連携を図りますためにも、引き続き、利用者様の状況が把握できる職員が参画できるように配慮します。
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	適宜連携しています。ご家族のご了承のもと、連携しています。	引き続き、ご家族の要望や、状況が変化した際には、適宜情報共有を実践します。
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	適宜、連絡調整や、年間計画・行事の予定を図れるように対応しております。	今後の支援機関との連携に努め、質の向上を図れたらと考えております。

関係機関や保護者との連携	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	0	適宜、就学時の移行の際には情報共有を実践しております。	安心して、学校の授業が受けられるように、支援を実施します。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	7	利用者様が小学生が中心で該当する方が現在いない。	卒後の連携は、現在実施できておらず、今後該当者がいた場合、適切に対応する
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	3	適宜連携を取り、必要に応じて助言など、連携しております。 している方もいるが出来てない方もいる。	引き続き、連携を図り、利用者様への支援の質の向上に努めます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	3	園での様子など、必要に応じて電話や送迎時に連携し、対応しております。	引き続き、連携を図り、利用者様への支援の質の向上に努めます。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	7	0	地域の協議会があれば、参加しています。	引き続き他事業所との連携のためにも、可能な限り参加します。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	連絡帳や、モニタリング、面談時に現時点での発達の状況課題について情報共有しています。	今後も、ご家族の方々にもわかりやすく、お子様の発達状況や課題について情報共有出来るように検討します。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3	研修会を実施。今後も年間スケジュールで検討する。	今後、ご家族に対する、家族支援プログラムの検討や、家族が参加できる研修の機会を検討いたします。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	契約時に説明を行っています。	引き続き運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行います。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	子供主体であること、ご家族がご家庭で困っていますこと、今後気になることについても考慮するための機会があります。	引き続き、こどもや保護者の意向を確認する機会を設けます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	同意を得るための家族面談が企画されております。	引き続き、ご家族の同意が得られるような支援計画の立案を検討します。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	連絡帳などでご家族とやり取りや、電話で適宜子育ての悩み相談を受け付け対応しております。	連絡帳などでご家族とやり取りや、電話で適宜子育ての悩み相談を受け付け対応しております。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	7	夏祭り、勉強会などを開催し、保護者の交流や兄弟児が参加できるものを提案しております。	今後必要に応じて、実施を検討致します。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	送迎時や、お迎え時にご家族の相談があった際には、窓口担当の職員が情報収集できるように、スタッフ間で連携しています。 相談体制を整備している。	お子様や、ご家族が安心して相談が出来るように可能な限り人層に対応し、期限をお伝えし対応できるよう致します。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	1	・HP、SNSにて情報開示が実施されています。 ・行事予定も連絡している。	保護者の皆様、療育状況を把握するためにも、定期的にHPやSNSの更新が出来るように努めます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	・他事業所と連携する際には、ご家族に了承を得て連携しております。 ・SNSに情報を発信する際は、トリプルチェックで確認し、個人情報の取り扱いに配慮しております。 ・個人情報の取扱いに留意している。	・引き続き、ご家族の皆様が安心して当事業所をご利用できるように、個人情報の取り扱いについて配慮します。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	子どもたちが理解しやすい配慮として、声掛けの語数を減らすこと、見通しを立てるための視覚支援、筆談なども活用しています。発達段階、理解されています程度は成長により変動しますので、子どもたちが必要としますだけの情報量を見極め、配慮しています。 ・個別に連絡がとれるように配慮している。	今後も引き続きお子様や、保護者の皆様心地よくコミュニケーションがとれるように配慮し、対応いたします。
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	0	デイサービス利用される方と、触れ合う機会やイベントを企画し、交流されています。 買い物イベントを通して、地域の方々との交流。	今後も地域を巻き込んだ企画も検討しております。	
46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	マニュアルを確認できる場所に提示しています。訓練も実施しております。	今後も職員が把握できるように、対応いたします。	

非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	BCPを策定しております。 避難訓練を実施しております。	引き続き安全面に配慮し対応いたします。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況共有し、適宜対応しています。	引き続き、子どもたちへのリスク管理について職員と情報共有します。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	クッキング前には、アレルギーの確認を必ず実施しております。	引き続き、アレルギーに配慮した支援を継続します。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	安全計画を検討し、熱中症対策などの注意喚起など周知を実施しております。	引き続き、安全管理に配慮し、支援を実施します。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	2	家族に安全計画の取り組み熱中症対策などについて周知しています。	家族への周知に関して、今後、SNSや連絡帳などを活用し情報共有を図ります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	ヒヤリハットについて、スタッフ間で情報共有し、安全に配慮しています。 共有し検討している。	引き続き、ヒヤリハットを共有し、再発防止に努める。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	虐待防止研修会を実施しています。	引き続き、定期的に研修を実施してまいります。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0	契約時に説明を行っています。 研修も実施している。	必要時には、スタッフ間で情報を共有し、本当に必要か、必要最低限の拘束、なぜ必要なのか明確にします。